

平成30年度版
新城の水道



水道水 安全 おいしい 金メダル

新城市上下水道部経営課

目 次

はじめに	1
I 新城市水道事業	
1 水道事業の沿革	2
2 施設の概要	
(1) 管路延長	7
(2) 水道給水フロー図	8
3 業務の概要	
(1) 事業の推移	9
(2) 料金収納状況	9
(3) 口径別給水件数	9
(4) 口径別給水量	10
(5) 水量範囲別給水量	10
(6) 開始・休止取扱件数	10
(7) 水道料金早見表	10
(8) 加入金・水道料金	11
(9) 水道料金推移	11
4 財務の概要	
(1) 損益計算書構成比較表	12
(2) 貸借対照表構成比較表	13
II 新城市簡易水道事業	
1 簡易水道事業の沿革	
(1) 鳳来地区	14
(2) 作手地区	22
2 施設の概要	
(1) 中央簡易水道	24
(2) 北部簡易水道	24
(3) 鳳来峡簡易水道	24
(4) 東部簡易水道	25
(5) 鳳来南部簡易水道	25
(6) 川合簡易水道	25
(7) 池場簡易水道	25
(8) 作手簡易水道	26
(9) 給水フロー図（鳳来地区）	27
(10) 給水フロー図（作手地区）	32
3 業務の概要	
(1) 事業の推移	34
(2) 料金収納状況	34
(3) 口径別給水件数	34
(4) 口径別給水量	35
(5) 水量範囲別給水量	35
(6) 開始・休止取扱件数	35
(7) 加入金・水道料金	36
(8) 簡易水道料金早見表	36
(9) 水道料金推移	37

4	財務の概要	
	(1) 決算状況	39
	(2) 損益計算書構成比較表	40
III	新城市工業用水道事業	
1	工業用水道事業の沿革	41
2	管布設延長	43
3	給水フロー図	44
4	業務量	45
5	財務の概要	
	(1) 損益計算書構成比較表	46
	(2) 貸借対照表構成比較表	47
IV	新城市給水区域図	49

はじめに

1 新城市の位置及び地勢

新城市は、愛知県の東部、東三河の中央に位置し、東は浜松市、西は岡崎市及び豊田市、南は豊川市及び豊橋市、北は設楽町及び東栄町に隣接しています。さらに広域的には、飯田市・浜松市・豊橋市を頂点とする三遠南信トライアングルエリアの一角に位置しています。

東西約 29.5 キロメートル、南北約 27.3 キロメートルで、県内 2 番目の広さとなる 499.23 平方キロメートルに、約 5 万人が暮らしています。

市域の 84 パーセントは森林で、地形や植生などの多様性と特殊性から多くの面積が国定公園や県立自然公園に指定され、豊川水系と矢作川水系の水源涵養のほか、土砂災害防止・土壌保全など多様な役割を担っています。

2 新城市の水道事業の沿革

【水道事業】

新城市は、平成 17 年 10 月 1 日に新城・鳳来・作手の 3 市町村が新設合併して誕生し、新たな歴史を歩み始めました。

新城地区の水道事業は、昭和 33 年 3 月に計画給水人口 8,000 人、計画 1 日最大給水量 1,600 m³の規模で創設認可され、昭和 34 年 8 月に給水を開始しました。

その後、第 1 期から第 4 期の拡張工事を進め、昭和 55 年 4 月には全地区皆水道となりました。

平成元年 7 月からは第 5 期拡張事業に着手し、平成 3 年 2 月には水道施設の合理的運用を図るため、遠方監視制御システムを導入した桜淵浄水場等を完成させ、また、渇水時や災害時に備えるため、平成 5 年 7 月野田地内に日量 1,500 m³、平成 10 年 3 月には八名井地内に日量 1,500 m³の地下水の自己水源を確保しました。

さらに、平成 7 年度から第 6 期拡張事業に着手し、平成 10 年 3 月には将来の水需要を考慮した最大日量 5,370 m³の県水を受水できるポンプ場及び配水池を八名井地内に築造し、配水管等の整備をしました。そして、第 6 期拡張その 2 事業に平成 13 年 2 月から着手し、平成 14 年度に高度浄水処理施設鯉淵浄水場を完成しました。

一方、配水管の耐震化と安定給水を図るため、平成 6 年度から計画的に老朽管(石綿セメント管)の更新事業を進めるとともに、平成 17 年度から第 6 期拡張その 3 事業に着手し、平成 18・19 年度事業で高度浄水処理施設八名井浄水場の整備を行ない、平成 21 年度は川田受水場耐震補強工事並びに電気計装設備工事を行ないました。また平成 26 年度から平成 32 年度までの 7 か年事業で、庭野配水池から災害拠点病院である新城市民病院までの配水管を、耐震機能を有する管への布設替を実施しております。

平成 29 年 4 月から簡易水道事業を統合、新城市水道事業基本計画(平成 29 年 3 月策定)に基づき鳳来地区・作手地区施設の耐震化事業を実施しております。

【簡易水道事業】

鳳来地区は、昭和 27 年簡易水道事業が認可され 10 簡易水道事業が整備されるとともに 10 の簡易給水施設が設置され、ほぼ全域に水道が普及、また作手地区は昭和 53 年簡易水道事業が認可され 2 簡易水道事業の整備と 1 の用水供給施設が設置され、ほぼ全域に水道が普及しております。

平成 17 年の市町村合併とともに、鳳来地区と作手地区の簡易水道事業特別会計が合併して 1 つの新城市簡易水道事業特別会計として運営しています。

平成 19 年度に国が「1 市町村に 1 水道事業」の方針を打ち出し、新城市としても平成 28 年度までに全市の水道事業を 1 つに統一することになり、新城市水道ビジョン及び新城市水道統合計画を策定し、これに沿って簡易水道事業の統合計画を進めています。

平成 20 年度には統合の第 1 段階として、用水事業も含めた作手全域を 1 つの「作手簡易水道事業」として事業認可を受け、21 年度から統合整備事業を実施。また鳳来地区の鳳来中央簡易水道と南東部簡易水道を事業統合し「中央簡易水道」として事業認可を受け、平成 21 年度から統合整備事業を実施。この 2 事業につきましては、平成 25 年度に統合整備を完了しました。

平成 21 年度には統合の第 2 段階として、鳳来地区の北部簡易水道と西部簡易水道を事業統合し「北部簡易水道」として事業認可を受け、平成 22 年度から統合整備事業を進め、平成 27 年度に統合整備を完了しました。

平成 24 年度には統合の最終段階として、鳳来地区の鳳来峡簡易水道と大野簡易水道を事業統合し「鳳来峡簡易水道」として事業認可を受け、平成 26 年度から統合整備事業を進め、平成 27 年度に統合整備を完了しました。平成 28 年度において、上水道事業の認可変更許可により 8 簡易水道事業を廃止し、平成 29 年 4 月から水道事業に統合しました。

I 新城市水道事業

1 水道事業の沿革

区 分	水 道 事 業		
	創 設	第 1 期 拡 張 事 業	第 2 期 拡 張 事 業
認可年月日	31指令防第624号	39指令環第10-8号	厚生省環第338号
	昭和33年 3月27日	昭和39年 3月16日	昭和45年 3月31日
事業費	4,100万円	9,159万円	51,252万円
計画給水人口	8,000人	19,500人	30,000人
計画1人1日最大給水量	200ℓ/日	210ℓ/日	530ℓ/日
計画1日最大給水量	1,600m ³ /日	4,095m ³ /日	15,900m ³ /日
建設年度	昭和33～34年度	昭和39～41年度	昭和45～49年度
給水区域または主な事業	東新町、西新町、本町、入船、中町、橋向、的場、平井、沖野、杉山、石田	(拡張区域) 栄町、片山、今出平、諏訪、野田、中市場、大野田、稲木、豊島、川田、上平井、富沢、富永、川路、日吉、庭野	(拡張区域) 牛倉、大宮、須長、浅谷、大海、有海、八束穂、竹広、川路、川田原、鳥原、塩沢、富永の一部
認可水量(日量)	豊川 1,762m ³	豊川 1,002m ³	豊川 5,320m ³
		大入川 4,320m ³	真国 740m ³
			県水 9,800m ³
備考	昭和34年8月 給水開始	昭和42年度から 栄町簡易水道を統合	昭和45年度から 第1簡易水道 (北部地区)を統合 昭和48年度から 県水受水開始
参考	昭和33年11月 新城市誕生 昭和35年12月 都市計画区域指定	昭和39年9月 工特地域指定 昭和42年度 水道事業設置 昭和43年5月 豊川用水完工	昭和45年11月 市街化区域、 調整区域決定

水		道		事		業	
第3期拡張事業		第4期拡張事業		第5期拡張事業		第6期拡張事業	
厚生省環第10号		厚生省環第282号		1令環第65-9号		6令環第52-7号	
昭和48年 1月 5日		昭和52年 4月 1日		平成 1年 7月12日		平成 6年12月 6日	
77, 688 万円		88, 521 万円		85, 000 万円		87, 859 万円	
33, 000 人		39, 500 人		39, 000 人		39, 800 人	
480 ℓ/日		590 ℓ/日		509 ℓ/日		570 ℓ/日	
15, 900 m ³ /日		23, 440 m ³ /日		19, 840 m ³ /日		22, 690 m ³ /日	
昭和48～50年度		昭和52～54年度		平成元～6年度		平成7～12年度	
(拡張区域) 小畑、中宇利、富岡、 黒田、庭野、一畝田、 八名井、吉川、富永		(拡張区域) 徳定、山、臼子、矢部、 出沢、横川、市川 昭和55年4月 全市皆水道		(主な事業) 桜淵浄水場築造 浄水方法の変更		(主な事業) 八名井受水場・ 配水池 築造	
豊川	5, 320 m ³	豊川	5, 320 m ³	豊川	5, 320 m ³	豊川	5, 320 m ³
真国	740 m ³	真国	740 m ³	真国	740 m ³	真国	740 m ³
県水	9, 800 m ³	県水	17, 440 m ³	県水	13, 780 m ³	県水	15, 170 m ³
		市川	40 m ³	市川	40 m ³	市川	40 m ³
						野田	1, 500 m ³
		昭和54年度から 市川簡易水道を統合		平成3年2月1日 桜淵浄水場給水開始		平成10年4月13日 八名井県水受水開始	
				平成5年7月 野田緊急水源設置		平成10年3月 八名井緊急水源設置	
昭和48年11月 工業用水道事業認可		昭和54年 8月 地震防災対策強化地域指定		平成元年4月 公共下水道供用開始		平成9年4月 料金改定	
昭和50年1月 工業用水道完成		昭和59年4月 料金改定		平成3年7月 大原調整池完工		平成10年4月 指定給水装置工事事業者制 度	

水 道 事 業		
第6期拡張その2事業	第6期拡張その3事業	第7期拡張事業
12令生衛第52-7号	16生衛第69-3号	28生衛第64-2号
平成13年 1月17日	平成17年 3月31日	平成29年 3月24日
344,027万円	142,001万円予定	225,121万円予定
39,600人	36,900人	46,093人
538ℓ/日	436ℓ/日	460ℓ/日
21,300m ³ /日	16,100m ³ /日	21,202m ³ /日
平成12～14年度	平成17～19年度	平成29～37年度
鯉淵浄水場 (膜ろ過) 築造	八名井浄水場 (膜ろ過) 築造	(拡張区域) 簡易水道事業の給水区域拡張
豊川 15,320m ³	別表「水源別取水計画」平成 20年度～平成27年度のとおり	別表「水源別取水計画」平成 28年度～平成37年度のとおり
真国 740m ³		
県水 13,930m ³		
市川 40m ³		
野田 880m ³		
八名井 1,000m ³		
平成13年4月9日 八名井水源使用開始	平成20年3月 八名井浄水場給水開始	
平成15年3月 鯉淵浄水場給水開始		
平成12年6月 県水料金改定	平成17年10月1日 市町村合併	平成29年4月1日 簡易水道事業を統合 料金体系を統一
平成13年4月 料金改定		

別表 水源別取水計画

水 源 種 別			平成16年度～19年度		平成20年度～27年度		平成28年度～37年度			
			取 水 量		取 水 量		取 水 量			
自己 水源	豊川水源		伏流水		5,320		5,320		5,320	
	市川水源	第1	表流水		10		10		10	
		第2	表流水		30		30		30	
	黄柳川水源		表流水						1,518.5	
	漆川水源		表流水						382.4	
	豊川水源		表流水						781	
	竹桑田沢水源		表流水						369	
	谷川水源		表流水						713	
	東栃沢水源		表流水						576	
	槇原川水源		表流水						1,490	
	阿寺川水源		表流水						854	
	赤峰川水源		表流水						400	
	浦梨沢水源		表流水						170	
	白倉川水源		表流水						458.3	
	黒沢川水源		表流水						94	
	大六沢水源		表流水						274.5	
	須栃沢水源		表流水						36	
	菅沼川水源		表流水						537	
	山中沢水源		表流水						180	
	入道沢水源		表流水						190	
入道川水源		表流水						440		
鴨ヶ谷川水源		表流水						419		
木和田川水源		表流水						16		
野田水源	1号井	浅井戸	516	1,396	440	880	440	880		
	2号井	浅井戸	440		0		0			
	3号井	浅井戸	440		440		440			

	八名井水源	1号井	浅井戸	0	0	500	1,000	500	1,000
		2号井	浅井戸	0		500		500	
		3号井	浅井戸	0		500		500	
	計			6,756	7,240	17,138.7			
県水受水	川田受水場		浄水	7,600	6,595	7,000			
	八名井受水場		浄水	2,280	2,001	2,500			
	計			9,880	8,596	9,500			
合 計				16,636	15,836	26,638.7			
予備水源	八名井水源		浅井戸	0	500	500			
	計				500	500			

※1 八名井水源については3井の内2井を常用水源とし、1井を予備水源とする。

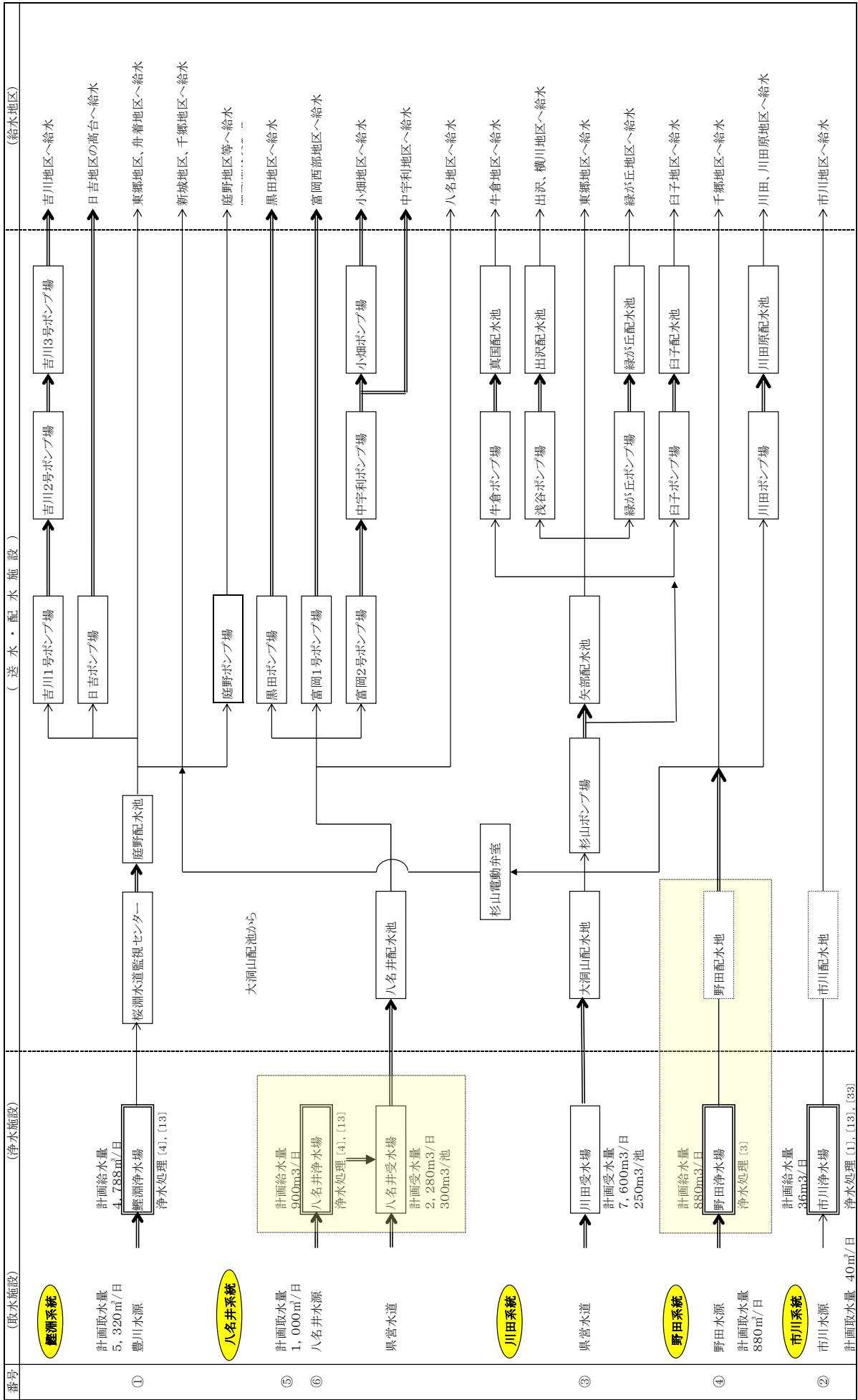
休止水源	野田水源	2号井	浅井戸
	夏沢水源		表流水
	大島川水源		表流水
	宮川水源		表流水

(1) 管路延長

管種	年度	平成27年度末 (m)	平成28年度末 (m)	平成29年度末 (m)
導水管		3,712	3,712	17,821
送水管		5,195	5,195	56,046
配水管	φ50以下	106,863	107,054	164,251
	φ75	52,488	51,485	118,277
	φ100	42,961	43,825	110,384
	φ150	44,957	44,976	119,891
	φ200	15,482	15,484	33,322
	φ250	12,346	12,346	13,757
	φ300	23,062	23,378	23,446
	φ350	573	573	573
	φ400	0	0	0
	φ450	3,207	3,207	3,207
配水管計		301,939	302,328	587,108
合計		310,846	311,235	660,975
石綿管	(ACP)	831	831	0
ダクタイル鋳鉄管	(DIP)	145,014	146,089	311,078
鋼管	(GP)	949	949	14,257
ポリエチレン管	(PEP)	67,561	69,018	93,308
ビニール管	(VP)	96,226	93,997	234,755
その他		265	351	7,577
合計		310,846	311,235	660,975
地上式消火栓 (基)		3	2	44
地下式消火栓 (基)		383	386	1,944
地下式消火栓 (基)		383	383	386

(2) 水道給水フロー図
平成30年度

水道事業等名 新城市水道事業 (No.1)



<凡例>

浄水場	;	1 急速ろ過	31 エアレーション
送・配水施設	;	2 凝連ろ過	32 マンガン接触ろ過
同一敷地内	;	3 消毒のみ	33 アルカリ処理
自然流下	;	4 膜ろ過	35 二段凝集処理
ポンプ/圧送	;	11 前塩素処理	36 多層ろ過
		12 中塩素処理	37 その他の浄水処理

浄水場	;	13 後塩素処理
送・配水施設	;	21 粉末活性炭
同一敷地内	;	22 粒状活性炭
自然流下	;	23 オゾン処理
ポンプ/圧送	;	24 生物処理
		25 ストリッピング処理

浄水処理: ()

3 業務の概要

(1) 事業の推移

区分		年度	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
普及状況	行政区域内人口		人	34,586	34,253	47,084
	給水人口		人	34,436	34,103	46,566
	普及率		%	99.57	99.56	98.90
	給水件数		件	13,374	13,332	19,021
配水状況	年間総配水量		m ³	4,344,358	4,358,733	6,483,994
	1日平均配水量		m ³	11,870	11,942	17,764
	一人1日平均配水量		ℓ	345	350	381
	1日最大配水量		m ³	平成27年8月4日 14,069	平成28年6月20日 13,754	平成29年7月24日 20,821
	年間自己水源配水量		m ³	2,191,055	2,272,786	4,319,074
	年間県水受水量		m ³	2,153,303	2,085,947	2,164,920
	県水依存率		%	49.57	47.86	33.39
給水状況	年間有収水量		m ³	3,779,585	3,744,608	5,103,809
	1日平均給水量		m ³	10,327	10,259	13,983
	一人1日平均給水量		ℓ	300	301	300
	有収率		%	87.00	85.91	78.71
	供給単価		円	176.24	176.24	175.16
	給水原価		円	183.31	182.85	237.96

(2) 料金収納状況

区分		年度	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
前年度繰越未収金額			円	119,558,709	115,661,178	112,455,512
調定金額			円	666,102,517	661,449,379	972,513,652
収納金額			円	670,000,048	664,655,045	922,287,639
年度末未収金額			円	115,661,178	112,455,512	162,681,525
収納率			%	85.28	85.53	85.01
口座振替率 (調定件数に対する振替率)			%	79.18	78.17	80.11

※収納率は、各年度の3月31日までの公金により算定してある。

(3) 口径別給水件数

年度末給水件数

口径	年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
φ13		11,196	83.71	11,110	83.33	16,025	84.25
φ20		1,884	14.10	1,927	14.45	2,517	13.23
φ25		176	1.30	178	1.34	261	1.37
φ30		0	0.00	0	0.00	15	0.08
φ40		62	0.46	61	0.50	111	0.58
φ50		35	0.26	35	0.26	62	0.33
φ75		18	0.13	18	0.10	26	0.14
φ100		3	0.02	3	0.02	4	0.02
φ150		0	0.00	0	0.00	0	0.00
計		13,374	100.00	13,332	100.00	19,021	100.00

(4) 口径別給水量

口径	年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		給水量 (m ³)	構成比 (%)	給水量 (m ³)	構成比 (%)	給水量 (m ³)	構成比 (%)
φ 13		2,393,451	63.33	2,359,805	63.02	3,278,012	64.23
φ 20		525,572	13.91	528,359	14.11	676,845	13.26
φ 25		166,070	4.39	163,001	4.35	222,875	4.37
φ 30		0	0.00	0	0.00	40,118	0.79
φ 40		139,725	3.70	133,281	3.56	194,905	3.82
φ 50		225,915	5.98	229,621	6.13	320,185	6.27
φ 75		266,639	7.06	265,502	7.09	300,680	5.89
φ 100		62,213	1.65	65,039	1.74	70,189	1.37
φ 150		0	0.00	0	0.00	0	0.00
計		3,779,585	100.00	3,744,608	100.00	5,103,809	100.00

(5) 水量範囲別給水量

水量区分	年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		給水量 (m ³)	構成比 (%)	給水量 (m ³)	構成比 (%)	給水量 (m ³)	構成比 (%)
0 ~ 10		1,313,721	34.76	1,305,946	34.88	1,808,223	35.43
11 ~ 20		888,243	23.50	882,393	23.56	1,199,827	23.51
21 ~ 30		461,095	12.20	453,906	12.12	608,135	11.92
31 ~ 50		295,164	7.81	290,299	7.75	399,631	7.83
51 ~ 100		141,295	3.74	138,696	3.70	206,133	4.04
101 ~		679,955	17.99	672,988	17.97	881,401	17.27
臨時		112	0.00	380	0.01	459	0.01
暫定		0	0.00	0	0.00	0	0.00
合計		3,779,585	100.00	3,744,608	100.00	5,103,809	100.00

(6) 開始・休止取扱件数

区分	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		開始	1,549	1,387
休止		1,468	1,350	1,580
合計		3,017	2,737	3,265

平成29年度より旧簡易水道分を含む

(7) 水道料金早見表 (新城地区)

円

使用水量		0m ³	5m ³	10m ³	15m ³	20m ³	25m ³	30m ³	35m ³	40m ³	45m ³	50m ³	55m ³
料金	口径13mm	799	1,150	1,501	2,041	2,581	3,391	4,201	5,227	6,253	7,279	8,305	9,493
	口径20mm	1,728	2,079	2,430	2,970	3,510	4,320	5,130	6,156	7,182	8,208	9,234	10,422
使用水量		60m ³	65m ³	70m ³	75m ³	80m ³	85m ³	90m ³	95m ³	100m ³	110m ³	115m ³	120m ³
料金	口径13mm	10,681	11,869	13,057	14,245	15,433	16,621	17,809	18,997	20,185	22,885	24,235	25,585
	口径20mm	11,610	12,798	13,986	15,174	16,362	17,550	18,738	19,926	21,114	23,814	25,164	26,514

(8) 加入金・水道料金

平成26年4月1日適用

区 分	加 入 金 (円)	水 道 料 金		
		基本料金 (円)	使用水量 (m ³)	円/m ³
φ 13	68,040	799.20	1 ~ 10	70.20
φ 20	172,800	1,728.00	11 ~ 20	108.00
φ 25	280,800	2,808.00	21 ~ 30	162.00
φ 40	880,200	10,800.00	31 ~ 50	205.20
φ 50	1,306,800	19,440.00	51 ~ 100	237.60
φ 75	3,256,200	40,392.00	101	270.00
φ 100	5,540,400	86,400.00	臨時用 1~	378.00
φ 150	11,966,400	200,880.00		
臨時	0	使用口径による		

消費税及び地方消費税額8%を含んでいます。

(9) 水道料金推移

[単位：円]

適用年月日		区分						
		S34. 8. 1	S43. 4. 1	S49. 4. 1	S51. 4. 1	S59. 4. 1	H9. 4. 1	H13. 4. 1
用途別基本料金	家事用 (10m ³ 含む)	230	270					
	営業用 (10m ³ 含む)	230	270					
	官公署・その他団体用 (10m ³ 含む)	230	270					
	工業用 (10m ³ 含む)		270					
	プール用 (100m ³ 含む)	1,000						
	湯屋用 (100m ³ 含む)	1,500	2,000					
	共用家事用 (10m ³ 含む)	220	220					
超過料金1m ³ につき	家事用 (11m ³ 以上)	25	30					
	営業用 (11m ³ 以上)	25	30					
	官公署・その他団体用 (11m ³ 以上)	25	30					
	工業用 (11m ³ 以上)		30					
	プール用 (101m ³ 以上)	10						
	湯屋用 (101m ³ 以上)	15	25					
共用家事用 (11m ³ 以上)	25	25						
口径別基本料金	φ 13			450	860	1,260	720	740
	φ 20			500	1,500	1,900	1,550	1,600
	φ 25			600	2,000	2,400	2,500	2,600
	φ 40			1,400	9,000	9,400	9,600	10,000
	φ 50			2,000	13,000	16,400	17,300	18,000
	φ 75			5,000	33,000	33,400	35,800	37,400
	φ 100			8,500	57,000	70,400	76,300	80,000
	φ 150			19,000	125,000	163,400	178,000	186,000
臨時用						使用口径による	使用口径による	
従量料金1m ³ につき	1m ³ ~10m ³				35	基本料を含む	60	65
	11m ³ ~20m ³				65	70	90	100
	21m ³ ~30m ³			63	90	110	130	150
	31m ³ ~50m ³				100	120	150	190
	51m ³ 以上			(13・20・25mmは10m ³ まで基本料を含む)	115			
	51m ³ ~100m ³					140	180	220
	101m ³ 以上					180	210	250
	臨時用				250	250	300	350

消費税及び地方消費税額は含んでいません。

なお、消費税等の税率は、平成元年4月から3%、平成9年4月からは5%となっております。

平成26年4月からは8%となりました。

4 財務の概要

(1) 損益計算書構成比較表

科目	年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		決算額(円)	構成比(%)	決算額(円)	構成比(%)	決算額(円)	構成比(%)
営業収益		673,172,759	84.69	669,448,875	83.44	915,005,762	59.57
給水収益		666,102,517	83.80	661,449,379	82.44	893,969,153	58.20
受託工事収益		1,486,712	0.19	2,388,952	0.30	1,025,398	0.07
その他営業収益		5,583,530	0.70	5,610,544	0.70	20,011,211	1.30
営業費用		754,001,551	93.16	739,878,914	93.29	1,412,663,873	91.40
原水及び浄水費		279,912,775	34.58	277,595,507	35.00	395,040,876	25.56
配水及び給水費		37,350,865	4.62	41,869,816	5.28	73,994,431	4.79
受託工事費		1,031,796	0.13	1,170,152	0.15	779,129	0.05
総係費		52,962,441	6.54	77,620,531	9.79	97,221,787	6.29
減価償却費		332,327,507	41.06	336,286,121	42.40	836,909,053	54.15
資産減耗費		50,416,167	6.23	5,336,787	0.67	8,718,597	0.56
営業利益(損失)		△ 80,828,792		△ 70,430,039		△ 497,658,111	
営業外収益		121,697,639	15.31	132,860,597	16.56	620,982,455	40.43
受取利息		1,272,051	0.16	452,500	0.06	0	0.00
他会計補助金		0	0.00	0	0.00	286,735,221	18.67
長期前受金戻入		115,535,616	-	107,205,829	13.36	330,396,882	21.51
雑収益		4,889,972	0.62	25,202,268	3.14	3,850,352	0.25
営業外費用		55,395,875	6.85	53,207,023	6.71	133,016,168	8.61
支払利息		54,608,966	6.75	52,463,356	6.62	112,176,583	7.26
雑支出		786,909	0.10	743,667	0.09	20,839,585	1.35
経常利益(損失)		△ 14,527,028		9,223,535		△ 9,691,824	
特別利益		-	-	-		-	
その他特別利益		-	-	-		-	
特別損失		-	-	-		-	
減損損失		-	-	-		-	
その他特別損失		-	-	-		-	
当期純利益(損失)		△ 14,527,028		9,223,535		△ 9,691,824	
前年度繰越(欠損金)利益剰余金		74,842,550		60,315,522		69,539,057	
その他未処分利益剰余金変動額		-		-		-	
当期末処分(欠損金)利益剰余金		60,315,522		69,539,057		59,847,233	

(2) 貸借対照表構成比較表

科目		年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
			決算額(円)	構成比(%)	決算額(円)	構成比(%)	決算額(円)	構成比(%)
資 産	固定資産		7,721,526,529	92.38	7,691,954,465	92.20	16,658,899,497	95.05
	流動資産		636,631,261	7.62	650,524,066	7.80	868,537,579	4.95
	現金預金		519,382,327	6.21	508,658,363	6.10	680,725,266	3.88
	未収金		115,771,214	1.39	138,733,993	1.66	184,888,163	1.06
	貸倒引当金		△ 1,100,000	(0.01)	△ 1,100,000	(0.01)	△ 1,100,000	(0.01)
	貯蔵品・その他		2,577,720	0.03	4,231,710	0.05	4,024,150	0.02
資産合計			8,358,157,790	100.00	8,342,478,531	100.00	17,527,437,076	100.00

II 新城市簡易水道事業

1 簡易水道事業の沿革

(1) 鳳来地区

区 分	鳳 来 中 央 簡 易 水 道		
	創 設	第 1 拡 張 事 業	第 2 拡 張 事 業
認可年月日	37 指令防第9-5号	45 指令環第24-18号	53 指令環第41-8号
	昭和37年2月13日	昭和45年9月21日	昭和53年6月14日
事業費	507 万円	9,793 万円	10,218 万円
計画給水人口	1,500 人	3,000 人	3,811 人
計画1人1日最大給水量	150.0 ℓ/日	193.0 ℓ/日	362.0 ℓ/日
計画1日最大給水量	225.0 m ³ /日	580.0 m ³ /日	1,380.0 m ³ /日
建設年度	昭和37年度	昭和45～47年度	昭和53年～54年度
給水区域	—	—	長篠、乗本、富栄
認可数量(日量)			黄柳川 750.5m ³
			長沢 768.0m ³
備考			
参考			

鳳来中央簡易水道	中央簡易水道	北部簡易水道	
第3拡張事業	統合事業	創設	第1拡張事業
1令環第65-8号	20生衛第68-2号	51指令環第47-2号	12令環第52-5号
平成1年6月15日	平成21年3月31日	昭和51年5月8日	平成12年3月31日
97,336万円	140,931万円	64,973万円	269,629万円
4,000人	3,685人	3,570人	2,861人
553.0ℓ/日	422.0ℓ/日	198.9ℓ/日	592.5ℓ/日
2,210.0m ³ /日	1,554.0m ³ /日	710.0m ³ /日	1,620.0m ³ /日
平成1～平成4年度	平成21～平成25年度	昭和51～53年度	平成12～17年度
(拡張区域) 長篠字 池田の一部 富栄字 下ノ瀬の一部 乗本字 板屋草連、根掛、猿打、榎下、竹ノ下、京ヶ久保、南、柳平の一部	(拡張区域) 長篠字 殿敷の一部 富栄字 矢田、山森、桑下、下ノ瀬、谷柿、西之谷下、横林の各一部 睦平字 田口、下平、六郎田、東貝津、奥ノ平、六郎貝津、藤ノ山、下貝津 細川字 日影、大沢、駒場、竹ノ谷、上ノ平、土合、杉ノ平、広見、猪ノ又、金田貝津、上ノ山、神田口、堂貝津 栗山字 中島、ハマイバ、西ノ島、西山、ホウへ、南川、栃木、山口、ハンノ木 七郷一色字 桐久保、西貝津、上貝津、西六田沢、東六田沢、夏明、樅沢、板橋、向久保、大木谷、六本松、折地、浅川、上松、ヌタ、桐山	海老、玖老勢、副川、門谷、富保、四谷、連合、長篠の一部	(拡張区域) 玖老勢字 井戸下 門谷字 鳳来寺の一部
黄柳川 2,460.0m ³	黄柳川 1806.0m ³	豊川 781.0m ³	豊川 781.0m ³
	夏沢 20.0m ³	竹桑田沢 781.0m ³	竹桑田沢 369.0m ³
	漆川 382.4m ³		谷川 713.0m ³
<ul style="list-style-type: none"> 水源の一本化。 水質悪化に対応できる浄水方法の変更。 給水量の増加。 未普及地区の解消。 上記のことに伴う変更認可。	<ul style="list-style-type: none"> 南東部簡易水道との統合により中央簡易水道に名称変更。 計画給水区域の拡張。 水質悪化に対応できる浄水方法の変更。 石綿管の更新。 上記のことに伴う変更認可。		<ul style="list-style-type: none"> 老朽施設、石綿管等の更新。 水質悪化に対応できる浄水方法の変更。 給水量の増加。 未普及地区の解消 上記のことに伴う変更認可。
	水道事業への事業統合に伴い平成29年3月31日事業廃止		

北 部 簡 易 水 道	鳳 来 峡 簡 易 水 道		
統 合 事 業	創 設	第 1 拡 張 事 業	第 2 拡 張 事 業
21生衛第68-1号	47指令環第23-6号	50指令環第45-8号	58令環第52-6号
平成22年3月31日	昭和47年9月14日	昭和50年10月20日	昭和58年11月22日
103,400 万円	11,436 万円	1,750 万円	170 万円
2,830 人	1,130 人	1,400 人	1,200 人
488.0 ℓ/日	287.0 ℓ/日	407.0 ℓ/日	833.0 ℓ/日
1,381.0 m ³ /日	324.0 m ³ /日	570.0 m ³ /日	1,000.0 m ³ /日
平成22~27年度	昭和47~49年度	昭和50年度	昭和58年度
(拡張区域) 連合字 登り立、向貝津、仲貝津 布里字 外貝津、小松、宮ノ前、小松ヶ根、下貝津、釜土戸、松ヶ根、登り小名、島貝津、道下、御堂前、下神田、坤立、栗峯の全部、片平野、袖ノ木、藩口、寺前、室下、大谷貝津、西向、厚ノ久保の各一部 只持字 大筋、大立、小松ノ、中貝津、宮ノ前、杉下、井通、松峯、下ボキ、作角、源氏向、社ノ、カラサワの各一部 一色字 上貝津、松ノ本の全部、小島、金山、樺夫、道上、神田貝津、樺川、藤川瀬、所野、パンバ、宮ノ根、神田久保の各一部 塩瀬字 大持原、知幸部、古ヤシロ、上貝津、中貝津、中平、タカソラ、アテ、下貝津、中島、向山の各一部 愛郷字 用留、奥林、西貝津、広瀬、島、石仏、下キサハラ、石神、川元、鴨沢の全部、宇根、羽石、豆腐、小立、川端、日向、楠ノ元、日景、大洞、坪ノ口、荒子、坂脇、久保貝津、和手貝津、後山、南貝津、谷上、羽鷲の各一部、 中島字 南林、ヨコテ、北貝津、藪下の各一部			能登瀬、井代、名越、門谷(鳳来寺)の一部、豊岡(槇原、湯谷、橋平、ドウデイ)の一部
豊川 781.0m ³			槇原川(第1) 363.0m ³
竹桑田沢 369.0m ³			槇原川(第2) 795.0m ³
谷川 713.0m ³			
東栃沢川 576.0m ³			
・西部簡易水道との統合 ・老朽管の更新 ・施設改良及び老朽施設の更新 上記のことに伴う変更認可			
水道事業への事業統合に伴い平成29年3月31日事業廃止			

鳳来峡簡易水道		鳳来峡簡易水道		東部簡易水道			
第3拡張事業		統合事業		創設			
6令環第52-5号		24生衛第64-3号		58令環第48-3号			
平成6年8月31日		平成25年4月1日		昭和58年5月11日			
96,024万円		70,268万円		28,739万円			
1,210人		2,277人		427人			
1,630.0ℓ/日		832.0ℓ/日		200.0ℓ/日			
1,972.0m ³ /日		1,894.0m ³ /日		85.4m ³ /日			
平成6~10年度		平成26~27年度		昭和58年度			
変 更 な し		(拡張区域) 富栄字 横手、道上茶屋、道下、橋爪、大下貝津、森下、下り道、前畑、外貝津、原、東貝津、甚居貝津、大貝津、下貝津、紺屋貝津、稲沢、茶屋貝津、正木貝津、大道下、上貝津、大道上、綾ノ橋、川端、旭、向畑、荒神場、馬瀬口、一ノ瀬、寺下、貝津 豊岡字 桐谷、野地、ソノ島、細筋、大道下、霜ノ下、梨木貝津、東貝津、西沢上、大道上の全部 大野字 柿田、上貝津、稲谷下、小林、勝負坂、琴森、火燈山、山伏通、的場、宮ノ前、松久保、横町、北野、上野、久羅下、中野、下野、榎下、下林、石松、奥林、広野、森野、小野、ホウジ、滝久保、ハナシ、上クス、中楠		名号、豊岡		変 更 な し	
榎原川(第2)	2,169.0m ³	榎原川	1,490m ³	大島川	94.0m ³		
		阿寺川	854m ³				
<ul style="list-style-type: none"> ・温泉施設等による給水量の増加。 ・水源の一元化。 ・水質悪化に対応できる浄水方法への変更。 上記のことに伴う変更認可。		<ul style="list-style-type: none"> ・大野簡易水道との統合 ・水質悪化に対応できる浄水方法への変更 ・連絡管の布設 ・老朽設備機器及び老朽管の更新 ・非常用電源設備の設置 上記のことに伴う変更認可。			浄水場の位置移動に伴う取水位置変更認可。		
		水道事業への事業統合に伴い平成29年3月31日事業廃止					

東 部 簡 易 水 道	南 東 部 簡 易 水 道		鳳 来 南 部 簡 易 水 道
第 2 拡 張 事 業	創	設	第 1 拡 張 事 業
創	設	創	設
1 1 令 環 第 5 2 - 6 号	5 6 令 環 第 4 5 - 2 号	9 令 環 第 5 2 - 4 号	6 0 令 環 第 4 8 - 1 号
平 成 11 年 3 月 31 日	昭 和 56 年 4 月 16 日	平 成 9 年 4 月 1 日	昭 和 60 年 4 月 3 日
13,167 万円	31,850 万円	136,071 万円	188,484 万円
379 人	500 人	636 人	2,385 人
231.0 ℓ/日	200.0 ℓ/日	629.0 ℓ/日	218.0 ℓ/日
85.4 m ³ /日	100.0 m ³ /日	367.6 m ³ /日	520.0 m ³ /日
平成11~12年度	昭和56~57年度		平成9~11年度
変 更 な し	平、細川、巢山	睦 (拡張区域) 七郷一色字 西貝津、上貝津、西六田沢、東六田沢、夏明、樺沢、板橋、向久保、大木谷、六本松、折地、浅川、上松、ヌタ、桐山	下吉田、上吉田、竹ノ輪、黄柳野、乗本
黒沢川 94.0m ³	夏沢 110.0m ³	夏沢 110.0m ³	赤峰沢 400.0m ³
大島川(予備) 94.0m ³		漆川 382.4m ³	浦梨沢 170.0m ³
大島ダムの建設により水質の悪化が予測されることに伴う取水位置変更認可。		・給水量の増加。 ・未普及地区の解消。 上記のことに伴う変更認可。	
水道事業への事業統合に伴い平成29年3月31日事業廃止		平成21年3月31日の中央簡易水道変更認可により同日廃止	

鳳来南部簡易水道	西 部 簡 易 水 道	川 合 簡 易 水 道	第 1 水 道
第 1 拡 張 事 業	創 設	創 設	第 1 拡 張 事 業
1 3 令 生 衛 第 6 4 - 1 号	2 令 環 第 5 1 - 3 号	第 417 号	7 令 環 第 5 2 - 3 号
平 成 14 年 3 月 29 日	平 成 2 年 5 月 15 日	昭 和 27 年 10 月 20 日	平 成 7 年 3 月 31 日
140,306 万円	187,101 万円	1,069 万円	74,463 万円
2,340 人	1,164 人	2,000 人	596 人
407.0 ℓ/日	300.0 ℓ/日	150.0 ℓ/日	425.0 ℓ/日
950.0 m ³ /日	524.0 m ³ /日	300.0 m ³ /日	249.5 m ³ /日
平成14～19年度	平成2～6年度	昭和28年度	平成7～9年度
(拡張区域) 乗本字 熊ノ山、上貝津、林	布里、只持、一色、塩瀬、中島、愛郷の一部	川合	(拡張区域) 川合字 一ツツの各一部 名号字 大六の一部
赤峰沢 400.0m ³	東栃沢川 576.0m ³	大六沢 300.0m ³	大六沢 274.5m ³
浦梨沢 170.0m ³			
白倉川 458.3m ³			
<ul style="list-style-type: none"> ・老朽施設の更新。 ・給水量の増加。 ・未普及地区の解消。 上記のことに伴う変更認可。			<ul style="list-style-type: none"> ・水質変動に確実に対応できる安全性の高い浄水方法に変更及び水道未普及地域の解消を図るための全面改修。
水道事業への事業統合に伴い平成29年3月31日事業廃止	平成22年3月31日の北部簡易水道変更認可により平成22年4月1日廃止		水道事業への事業統合に伴い平成29年3月31日事業廃止

大野簡易水道 創設	大野簡易水道		
	第1拡張事業	第2拡張事業	第3拡張事業
—	37指令環第10-10号	38指令環第10-13号	49指令環第42-6号
昭和27年10月20日	昭和37年8月15日	昭和38年8月22日	昭和49年3月18日
1,401万円	580万円	7万円	1,100万円
2,500人	2,600人	2,640人	2,000人
150.0ℓ/日	150.0ℓ/日	147.7ℓ/日	300.0ℓ/日
375.0m ³ /日	390.0m ³ /日	390.0m ³ /日	600.0m ³ /日
昭和30~31年度	昭和37年度	昭和38年度	昭和48年度
大野	—	—	(拡張区域) 大野、富栄の一部
鉛山沢 500.0m ³			阿寺川 500.0m ³
			鉛山沢 200.0m ³
	・阿寺川水源を追加		・区域拡張

大野簡易水道	池場簡易水道		
第4拡張事業	創設		
14令生衛第67-3号	17生衛第64-1号		
平成15年3月28日	平成18年3月27日		
145,329万円	37,127万円		
1,722人	105人		
617.3ℓ/日	310.0ℓ/日		
1,000.0m ³ /日	32.6m ³ /日		
平成15~20年度	平成18~19年度		
(拡張区域) 富栄字 向畑、荒神場、馬瀬口、一ノ瀬、寺下、貝津 豊岡字 桐谷、野地、ソノ島、細筋、大道下、霜ノ下、梨木貝津、東貝津、西沢上、大道上	池場字 松平、坂ノ嶋、林、上貝津、池嶋、寺沢、下日向 下日陰、渡津呂		
阿寺川 1,100.0m ³	須栃沢 36.0m ³		
・引地簡易水道との統合。 ・石綿管等の更新。 ・新設水源、浄水場等の設備。 ・給水量の増加。 上記に伴う変更認可。			
平成25年4月1日の鳳来峡簡易水道変更認可により平成25年3月31日廃止	水道事業への事業統合に伴い平成29年3月31日事業廃止		

(2) 作手地区

区 分	作 手 中 央 簡 易 水 道					
	創 設	第 1 拡 張 事 業	第 2 拡 張 事 業			
認可年月日	53令環第40-3号	1令環第65-6号	2令環第55-6号			
	昭和53年5月23日	平成元年5月12日	平成2年10月30日			
事業費	141,578 万円	184,415 万円	110,399 万円			
計画給水人口	2,305 人	2,781 人	2,781 人			
計画1人1日最大給水量	242 0/日	435 0/日	478 0/日			
計画1日最大給水量	558 m ³ /日	1,210.0 m ³ /日	1,330.0 m ³ /日			
建設年度	昭和53~56年度	平成元~4年度	平成2~4年度			
給水区域	作手菅沼、作手善夫 作手黒瀬、作手田原 作手岩波、作手中河内 作手高里、作手鴨ヶ谷 作手清岳、作手白鳥	作手菅沼、作手善夫 作手黒瀬、作手田原 作手岩波、作手中河内 作手高里、作手鴨ヶ谷 作手清岳、作手白鳥	(拡張区域) 作手守義			
認可数量(日量)	不動川	614.0m ³	菅沼川	537.0m ³	菅沼川	537.0m ³
			山中沢	180.0m ³	山中沢	180.0m ³
			不動川	614.0m ³	入道沢	190.0m ³
					入道川	440.0m ³
					鴨ヶ谷川	116.0m ³
備考						
参考						

作手簡易水道	作手南部簡易水道		
統合事業	創設		
20生衛第68-3号	58令環第48-2号		
平成21年3月31日	昭和58年4月26日		
119,106万円	117,188万円		
2,722人	686人		
490ℓ/日	252ℓ/日		
1,333.0 m ³ /日	172.6 m ³ /日		
平成21~24年度	昭和58~61年度		
(拡張区域) 作手木和田 作手保永、作手杉平 作手高松、作手大和田 作手田代、作手荒原	作手保永、作手杉平 作手高松、作手大和田 作手田代、作手荒原		
菅沼川 537.0m ³	宮川 190.0m ³		
山中沢 180.0m ³			
入道沢 190.0m ³			
入道川 440.0m ³			
鴨ヶ谷川 391.0m ³			
宮川 246.0m ³			
木和田川 16.0m ³			
・作手南部簡易水道との統合により作手簡易水道に名称変更。 ・計画給水区域の拡張。 ・浄水方法の変更。 ・給水量の増加。 上記のことに伴う変更認可。			
水道事業への事業統合に伴い平成29年3月31日事業廃止	平成21年3月31日の認可により廃止		

2 施設の概要

管路延長

(1) 中央簡易水道

年度	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末
管種	(m)	(m)	(m)
導水管	1,366	1,366	
送水管	10,531	10,531	
配水管	40,395	40,547	
合 計	52,292	52,444	
石綿管 (ACP)	0	0	
ダクタイル鋳鉄管(DIP)	27,468	27,552	
鋼管 (GP)	4,961	4,961	
ポリエチレン管 (PEP)	1,746	1,910	
ビニール管 (VP)	18,117	18,021	
合 計	52,292	52,444	

*ポリエチレン管にHPPEを含む

(2) 北部簡易水道

年度	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末
管種	(m)	(m)	(m)
導水管	698	698	
送水管	24,223	24,223	
配水管	66,778	66,778	
合 計	91,699	91,699	
石綿管 (ACP)	0	0	
ダクタイル鋳鉄管(DIP)	58,170	58,170	
鋼管 (GP)	60	60	
ポリエチレン管 (PEP)	5,420	5,420	
ビニール管 (VP)	28,049	28,049	
合 計	91,699	91,699	

*ポリエチレン管にHPPEを含む

(3) 鳳来峡簡易水道

年度	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末
管種	(m)	(m)	(m)
導水管	557	557	
送水管	557	557	
配水管	30,202	30,232	
合 計	31,316	31,346	
石綿管 (ACP)	0	0	
ダクタイル鋳鉄管(DIP)	17,737	17,737	
鋼管 (GP)	439	439	
ポリエチレン管 (PEP)	3,819	3,849	
ビニール管 (VP)	9,321	9,321	
合 計	31,316	31,346	

*統合により数値の変更あり

*ポリエチレン管にHPPEを含む

(4) 東部簡易水道

年度	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末
管種	(m)	(m)	(m)
導水管	4,648	4,648	
送水管	0	0	
配水管	4,697	4,697	
合 計	9,345	9,345	
石綿管 (ACP)	0	0	
ダクタイル 鋳鉄管 (DIP)	1,622	1,622	
鋼管 (GP)	4,648	4,648	
ポリエチレン管 (PEP)	2,591	2,591	
ビニール管 (VP)	484	484	
合 計	9,345	9,345	

*ポリエチレン管にHPPEを含む

(5) 鳳来南部簡易水道

年度	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末
管種	(m)	(m)	(m)
導水管	2,550	2,550	
送水管	10,899	10,899	
配水管	55,149	55,149	
合 計	68,598	68,598	
石綿管 (ACP)	0	0	
ダクタイル 鋳鉄管 (DIP)	45,366	45,366	
鋼管 (GP)	2	2	
ポリエチレン管 (PEP)	3,327	3,327	
ビニール管 (VP)	19,903	19,903	
合 計	68,598	68,598	

*ポリエチレン管にHPPEを含む

(6) 川合簡易水道

年度	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末
管種	(m)	(m)	(m)
導水管	278	278	
送水管	545	545	
配水管	5,559	5,559	
合 計	6,382	6,382	
石綿管 (ACP)	0	0	
ダクタイル 鋳鉄管 (DIP)	2,904	2,904	
鋼管 (GP)	0	0	
ポリエチレン管 (PEP)	265	265	
ビニール管 (VP)	3,213	3,213	
合 計	6,382	6,382	

*ポリエチレン管にHPPEを含む

(7) 池場簡易水道

年度	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末
管種	(m)	(m)	(m)
導水管	19	19	
送水管	0	0	
配水管	3,726	3,726	
合 計	3,745	3,745	
石綿管 (ACP)	0	0	
ダクタイル 鋳鉄管 (DIP)	3,490	3,490	
鋼管 (GP)	17	17	
ポリエチレン管 (PEP)	238	238	
ビニール管 (VP)	0	0	
合 計	3,745	3,745	

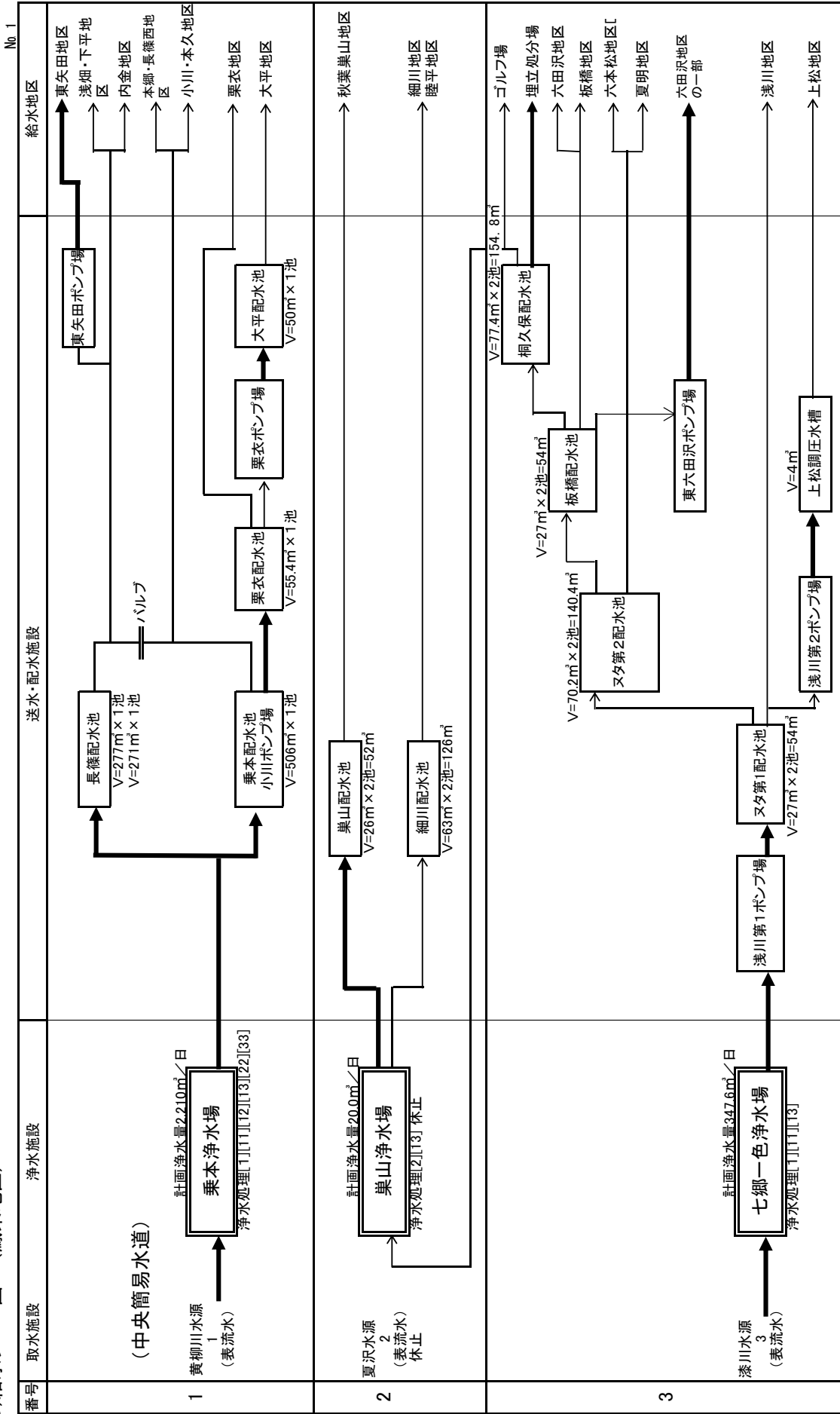
*ポリエチレン管にHPPEを含む

(8) 作手簡易水道

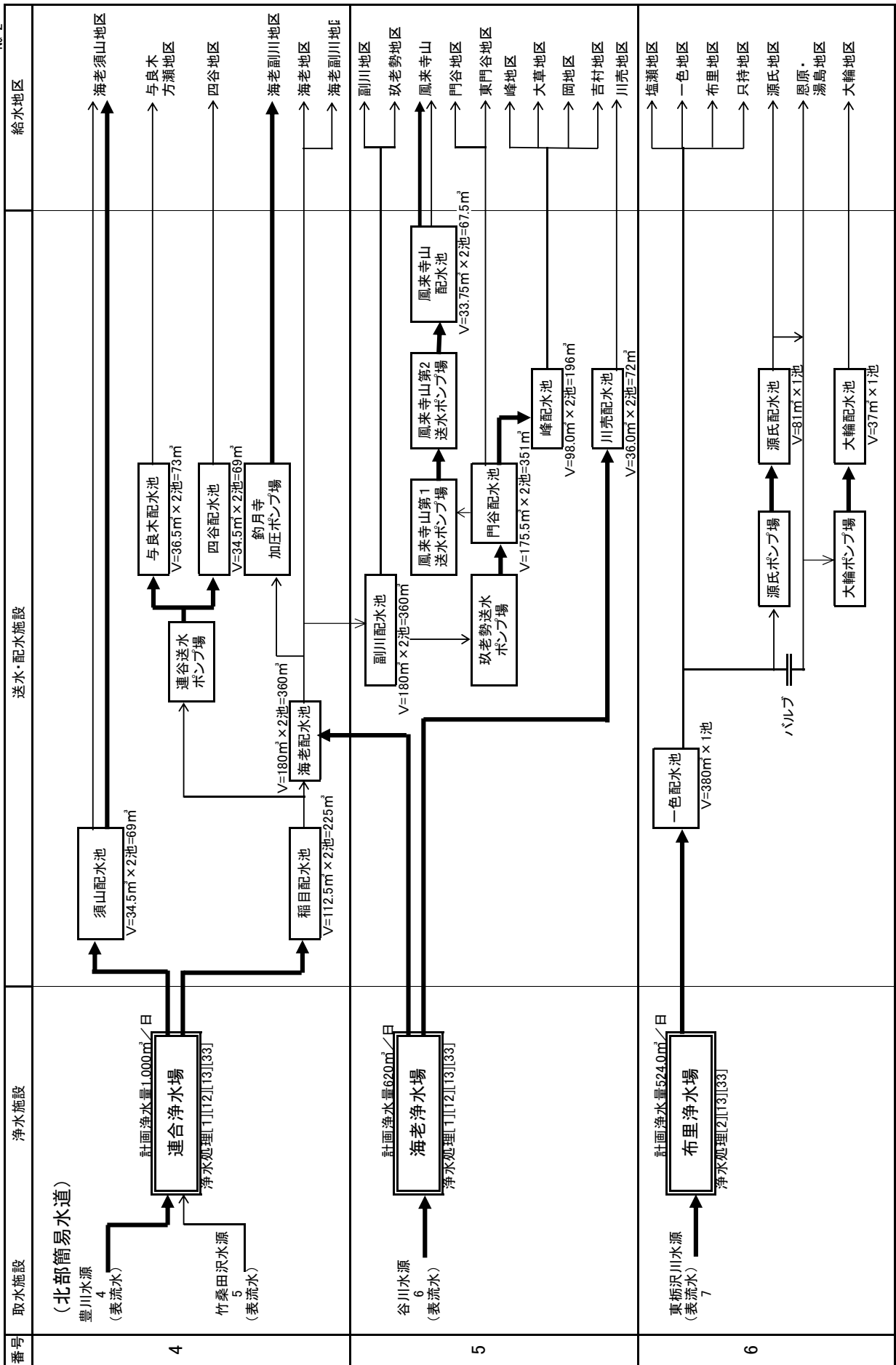
管種	年度	平成27年度末 (m)	平成28年度末 (m)	平成29年度末 (m)
導水管		3,993	3,993	
送水管		4,096	4,096	
配水管		77,615	77,658	
合 計		85,704	85,747	
石綿管 (ACP)		0	0	
ダクタイル 鋳鉄管(DIP)		41,735	41,735	
鋼管 (GP)		3,044	3,044	
ポリエチレン管 (PEP)		11,585	11,758	
ビニール管 (VP)		29,340	29,210	
合 計		85,704	85,747	

*ポリエチレン管にHPPEを含む

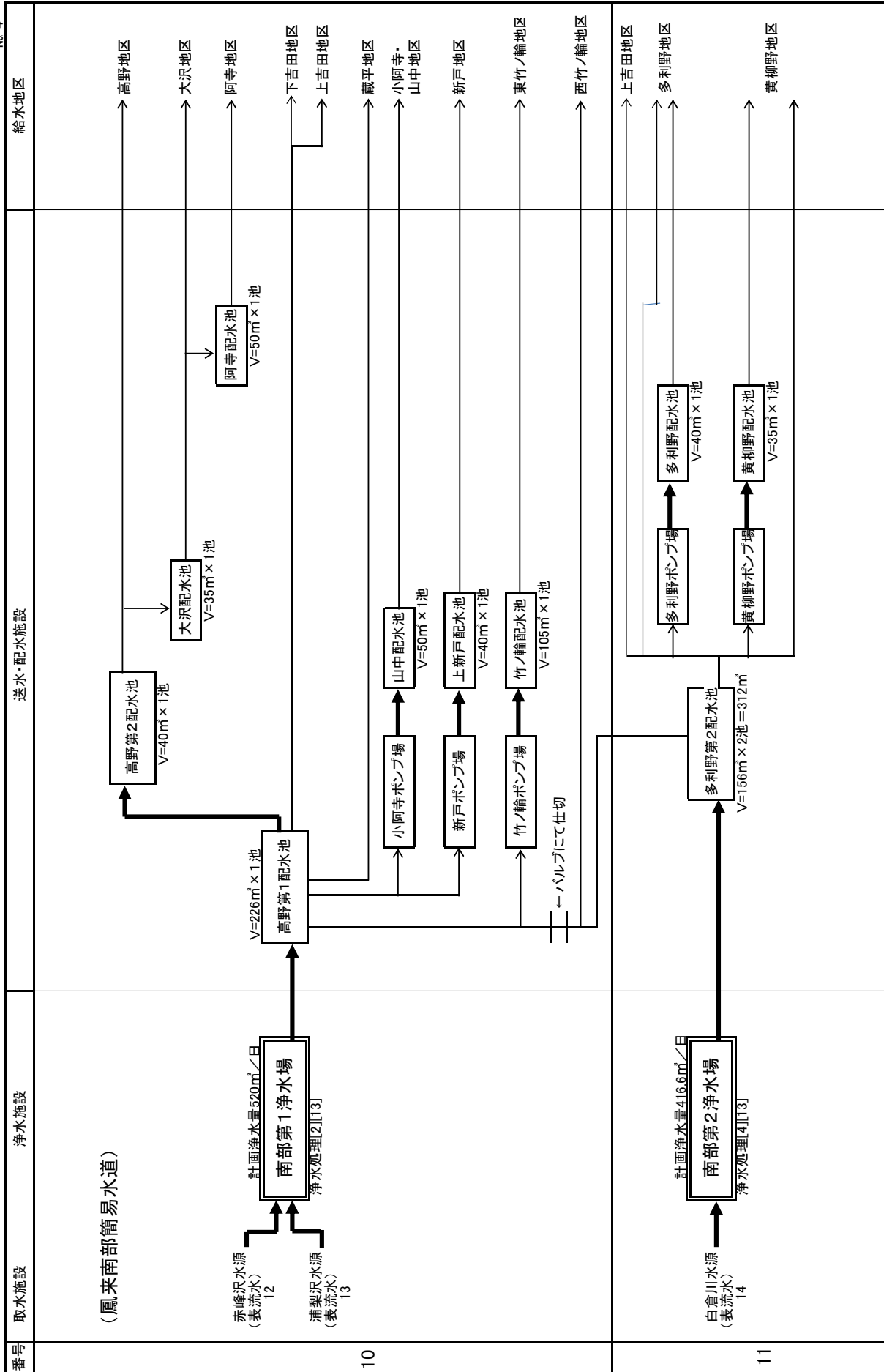
(9)給水フロ一図 (鳳来地区)



No. 1




番号	取水施設	浄水施設	送水・配水施設	給水地区
7	<p>(鳳来峡簡易水道)</p> <p>楨原川水源 (表流水) 8</p> <p>鳳来峡浄水場 計画浄水量1,972m³/日 浄水処理[1][12][13][33]</p>	<p>鳳来峡配水池 V=1,500m³ × 1池</p>		<p>→ 名越地区 → 楨原地区 → ドウデイ地区 → 湯谷地区 → 橋平地区 → 能登瀬地区 → 井代地区</p>
8	<p>阿寺川水源 (表流水) 9</p> <p>大野浄水場 計画浄水量1,000m³/日 浄水処理[4][13][33]</p>	<p>大野配水池 V=446.5m³ × 2池=893m³</p> <p>寺林配水池 V=105m³ × 2池=210m³</p>		<p>→ 大野地区 → 寺林地区の一部 → 寺林・大峠地区 → 引地地区</p>
9	<p>(東部簡易水道)</p> <p>黒沢川水源 (表流水) 10</p> <p>大島川水源 (表流水) 11 (表流水)臨時水源</p> <p>東部浄水場 計画浄水量85.4m³/日 浄水処理[2][13][33]</p>	<p>東部配水池加圧ポンプ V=43.5m³ × 2池=87m³</p>		<p>→ 名号地区 → 柿平地区</p>





番号	取水施設	浄水施設	送水・配水施設	給水地区
12	<p>(川合簡易水道)</p> <p>大六沢水源 15 (表流水)</p>	<p>計画浄水量249.5m³/日</p> <p>川合浄水場</p> <p>浄水処理能力110t/d</p>	<p>川合配水池 V=380m³×1池</p>	川合地区
13	<p>(池場簡易水道)</p> <p>須磨沢水源 16 (表流水)</p>	<p>計画浄水量32.6m³/日</p> <p>池場浄配水場</p> <p>浄水処理能力12t/d</p>	<p>配水池 V=32.4m³×2池=64.8m³</p>	池場地区


※番号は様式2-(3)の浄水場等状況表の番号と整合をとる。


※県水受水の取水施設は受水場等とする。

<凡例> 浄水場 :  : 24 生物処理

送・配水施設 :  : 25 ストリッピング処理

同一敷地内 :  : 31 エアレーション

自然流下 :  : 32 マンガン接触ろ過

ポンプ圧送 :  : 33 アルカリ剤処理

1 急速ろ過 12 中塩素処理 24 生物処理 35 二段凝集処理

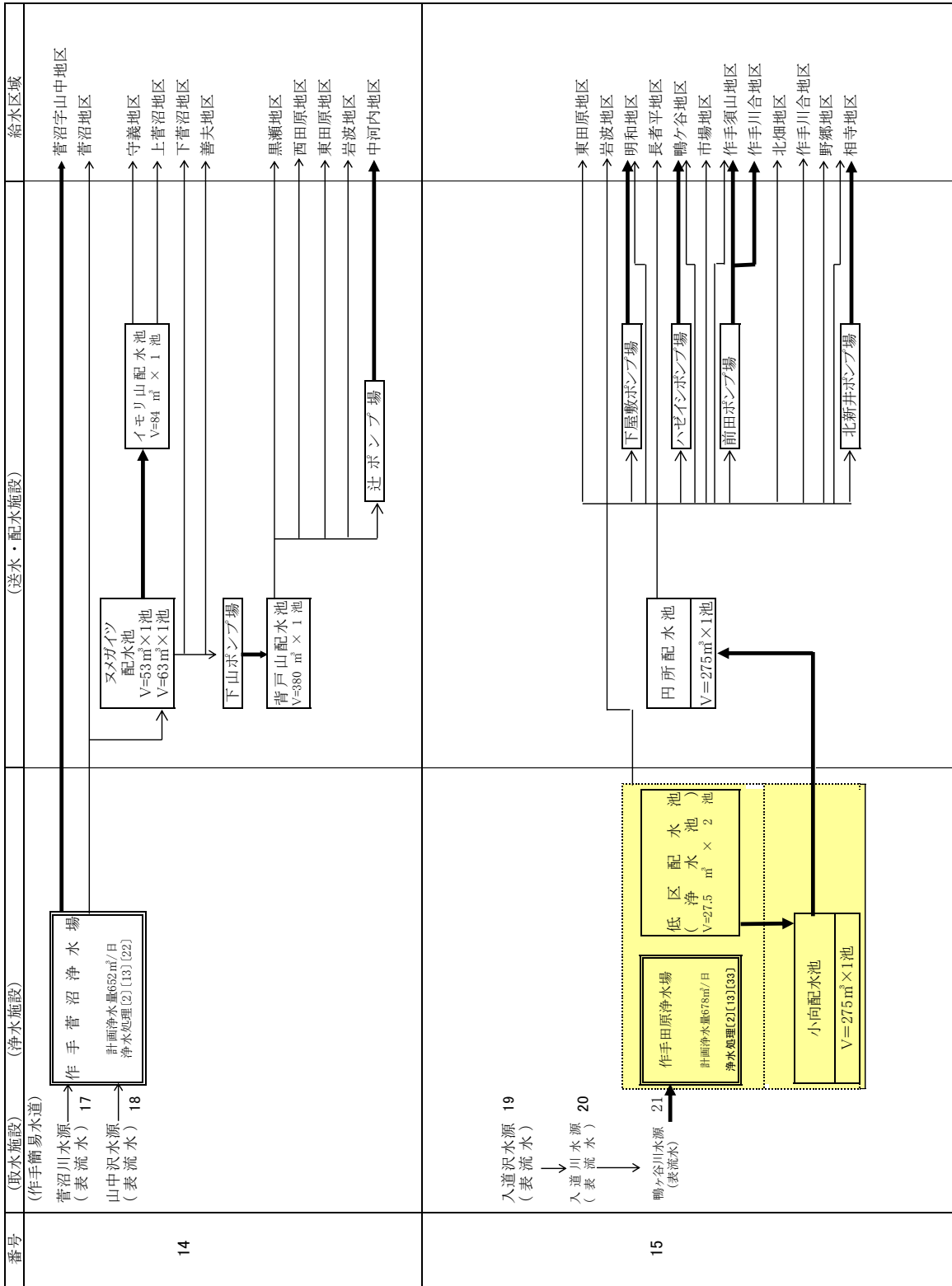
2 緩速ろ過 13 後塩素処理 25 ストリッピング処理 36 多層ろ過

3 消毒のみ 21 粉末活性炭 31 エアレーション 37 その他の浄水処理

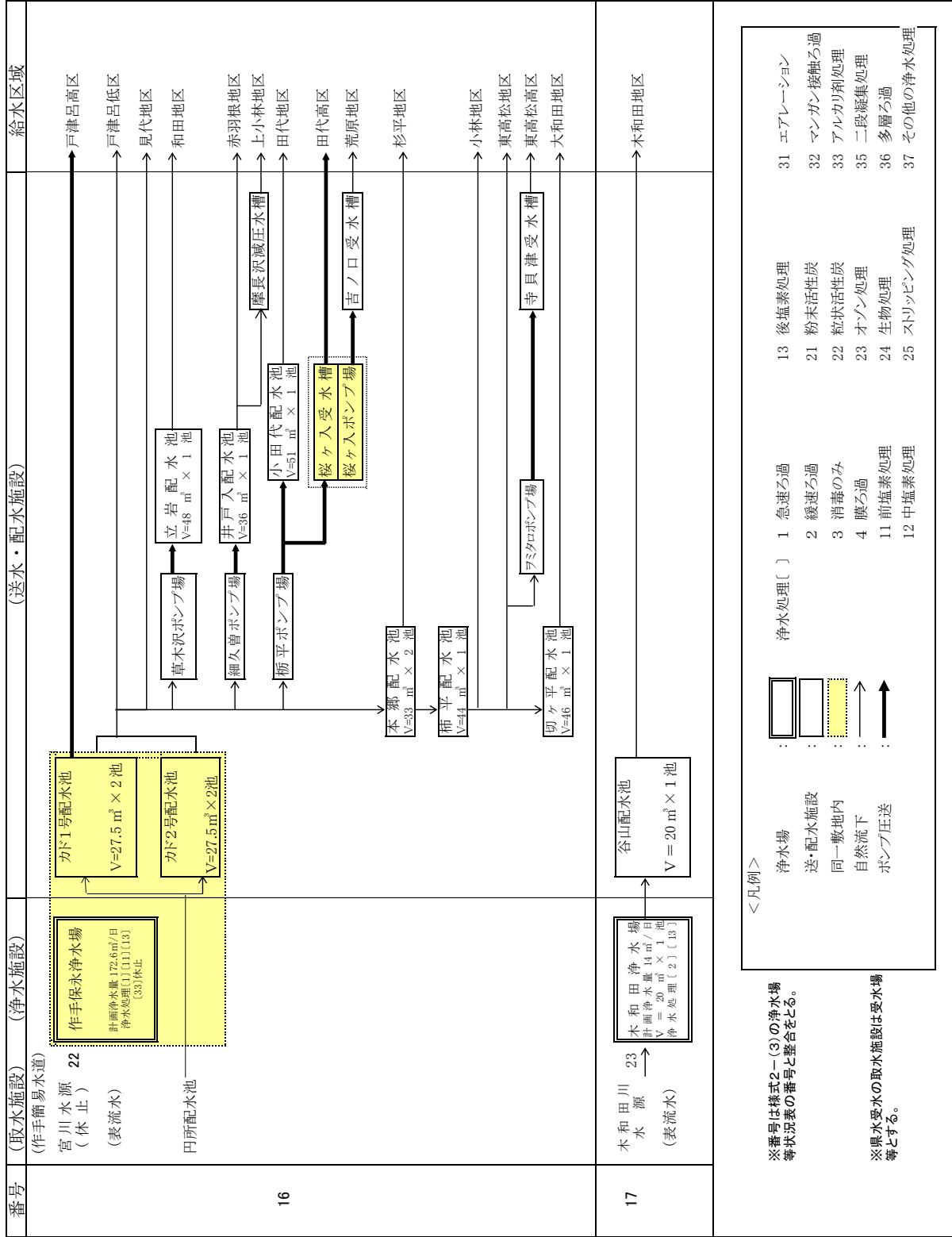
4 膜ろ過 22 粒状活性炭 32 マンガン接触ろ過

11 前塩素処理 23 オゾン処理 33 アルカリ剤処理

(110) 給水フロー図 (作手地区)



水道事業等新城市簡易水道事業



<凡例>

- 浄水場
- 送・配水施設
- 同一敷地内
- 自然流下
- ポンプ/圧送

浄水処理〔 〕

- 1 急速ろ過
- 2 緩速ろ過
- 3 消毒のみ
- 4 膜ろ過
- 11 前塩素処理
- 12 中塩素処理
- 13 後塩素処理
- 21 粉末活性炭
- 22 粒状活性炭
- 23 オゾン処理
- 24 生物処理
- 25 ストリッピング処理
- 31 エアレーション
- 32 マンガン接触ろ過
- 33 アルカリ剤処理
- 35 二段凝集処理
- 36 多層ろ過
- 37 その他の浄水処理

※番号は様式2-(3)の浄水場等状況表の番号と整合をとる。

※県水受水の取水施設は受水場等とする。

3 業務の概要

(1) 事業の推移

区分		年度	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
普及状況	行政区域内人口		人	13,598	13,521	
	給水人口		人	13,334	13,054	
	普及率		%	98.06	96.55	
	給水件数		件	5,621	5,593	
配水状況	年間総配水量		m ³	2,190,510	1,963,799	
	1日平均配水量		m ³	6,001	5,380	
	一人1日平均配水量		ℓ	450	412	
	1日最大配水量		m ³	7,917	7,082	
給水状況	年間有収水量		m ³	1,407,805	1,388,489	
	1日平均給水量		m ³	3,857	3,804	
	一人1日平均給水量		ℓ	289	291	
	有収率		%	64.27	70.70	
	供給単価		円	218.89	186.40	
	給水原価		円	409.66	403.46	

*平成28年度については、打ち切り決算のため、供給単価及び給水原価が低下している。

(2) 料金収納状況

区分		年度	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
前年度繰越未収金額			円	12,178,526	13,732,551	
今年度調定金額			円	321,889,595	319,835,371	
今年度収納金額			円	308,167,160	258,826,308	
今年度末未収金額			円	13,732,551	61,009,063	
収納率			%	95.74	80.92	
口座振替率 (調定件数に対する振替率)			%	-	-	

*平成28年度については、打ち切り決算のため、未収額の増加及び収納率が低下している。

(3) 口径別給水件数

口径	年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
φ13		4,906	87.28	4,873	87.13		
φ20		524	9.32	532	9.51		
φ25		81	1.44	80	1.43		
φ30		17	0.30	16	0.29		
φ40		53	0.94	52	0.93		
φ50		31	0.55	31	0.55		
φ75		8	0.14	8	0.14		
φ100		1	0.02	1	0.02		
計		5,621	100.00	5,593	100.00		

(4) 口径別給水量

口径	年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		給水量(m ³)	構成比(%)	給水量(m ³)	構成比(%)	給水量(m ³)	構成比(%)
φ13		948,155	67.35	939,470	67.66		
φ20		140,819	10.00	133,353	9.60		
φ25		55,596	3.95	55,728	4.01		
φ30		38,813	2.76	39,865	2.87		
φ40		56,183	3.99	56,021	4.03		
φ50		117,032	8.31	106,406	7.66		
φ75		43,579	3.10	49,207	3.54		
φ100		7,628	0.54	8,439	0.61		
計		1,407,805	100.00	1,388,489	100.00		

※構成比については、四捨五入の関係で100.00%にならない場合があります。

(5) 水量範囲別給水量

水量範囲	年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		給水量(m ³)	構成比(%)	給水量(m ³)	構成比(%)	給水量(m ³)	構成比(%)
0~10		94,170	6.69	498,869	35.93		
11~20		271,130	19.26	321,035	23.12		
21~30		293,061	20.82	164,612	11.86		
31~50		319,651	22.71	116,599	8.40		
51~100		119,093	8.46	63,411	4.57		
101~		310,669	22.07	223,963	16.13		
臨時		31	0.00	0	0.00		
暫定							
合計		1,407,805	100.00	1,388,489	100.00		

※構成比については、四捨五入の関係で100.00%にならない場合があります。

(6) 開始・休止取扱件数

口径	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		開始	243	259
休止		258	268	
合計		501	527	

(7) 加入金・水道料金

区分	加入金	水道料金			備考
		基本料金(円)	使用水量(m ³)	円/m ³	
φ13	68,040	1,686	一般用 10m ³ まで 基本料金	超過分 1m ³ につき 216円	平成26年4月1日改定
φ20	172,800	1,758			
φ25	280,800	1,789			
φ30	361,800	1,861			
φ40	880,200	1,902	臨時用 10m ³ まで 4,320円	超過分 1m ³ につき 432円	
φ50	1,306,800	2,921			
φ75	3,256,200	3,250			
φ100	5,540,400	3,785			
臨時	0	4,320			

(8) 簡易水道料金早見表

使用水量		0m ³	5m ³	10m ³	15m ³	20m ³	25m ³	30m ³	35m ³	40m ³	45m ³	50m ³
料金	口径13mm	1,686	1,686	1,686	2,766	3,846	4,926	6,006	7,086	8,166	9,246	10,326
	口径20mm	1,758	1,758	1,758	2,838	3,918	4,998	6,078	7,158	8,238	9,318	10,398
使用水量		55m ³	60m ³	65m ³	70m ³	75m ³	80m ³	85m ³	90m ³	95m ³	100m ³	105m ³
料金	口径13mm	11,406	12,486	13,566	14,646	15,726	16,806	17,886	18,966	20,046	21,126	22,206
	口径20mm	11,478	12,558	13,638	14,718	15,798	16,878	17,958	19,038	20,118	21,198	22,278
使用水量		110m ³	115m ³	120m ³	125m ³	130m ³	135m ³	140m ³	145m ³	150m ³	155m ³	160m ³
料金	口径13mm	23,286	24,366	25,446	26,526	27,606	28,686	29,766	30,846	31,926	33,006	34,086
	口径20mm	23,358	24,438	25,518	26,598	27,678	28,758	29,838	30,918	31,998	33,078	34,158
使用水量		165m ³	170m ³	175m ³	180m ³	185m ³	190m ³	195m ³	200m ³	205m ³	210m ³	215m ³
料金	口径13mm	35,166	36,246	37,326	38,406	39,486	40,566	41,646	42,726	43,806	44,886	45,966
	口径20mm	35,238	36,318	37,398	38,478	39,558	40,638	41,718	42,798	43,878	44,958	46,038

(9) 水道料金推移 10円未満 四捨五入

鳳来地区

区分		適用年月日		S53.4.1	S54.4.1	S55.4.1	H元.4.1	H9.4.1	H10.4.1	H12.4.1	H15.4.1
鳳来峡中央鳳	基本料金 基本10m ³ まで	600	600	800	820	840	1,050	1,290	1,580		
	超過料金 10m ³ 超、1m ³ 当り	100	100	100	100	110	130	130	130		
北部	基本料金 基本10m ³ まで		1,000	1,000	1,030	1,050	1,050	1,050	1,580		
	超過料金 10m ³ 超、1m ³ 当り		120	120	120	130	130	130	130		
上記以外	基本料金 基本10m ³ まで			1,500	1,550	1,580	1,580	1,580	1,580		
	超過料金 10m ³ 超、1m ³ 当り			120	120	130	130	130	130		
メーター使用料	φ13			60	60	60	60	60	60		
	φ20			120	120	130	130	130	130		
	φ25			150	150	160	160	160	160		
	φ30			220	230	230	230	230	230		
	φ40			260	270	270	270	270	270		
	φ50			1,200	1,240	1,260	1,260	1,260	1,260		
	φ75			1,500	1,550	1,580	1,580	1,580	1,580		
	φ100			2,000	2,060	2,100	2,100	2,100	2,100		
	臨時用										

作手地区

区分		適用年月日		S53.4.1	H10.4.1						
用途別基本料金	一般用(10m ³ 含む)	1,000	1,050								
	営業用(10m ³ 含む)	1,000	1,050								
	官公署・その他団体用 (50m ³ 含む)	5,000	5,250								
	臨時用(10m ³ 含む)	5,000	5,250								
超過料金 1m ³ につき	一般用(11m ³ 以上)	200	210								
	営業用(11m ³ 以上)	200	210								
	官公署・その他団体用 (51m ³ 以上)	200	210								
	臨時用(11m ³ 以上)	400	420								
メーター口径別料金	φ13	90	90								
	φ20	140	140								
	φ25	190	190								
	φ30	250	250								
	φ40	360	360								
	φ50	1,400	1,400								

全地区

区分		適用年月日								
		H21.4.1	H26.4.1							
全域 (一般)	基本料金 基本10m ³ まで	基本料金	基本料金							
	超過料金 10m ³ 超、1m ³ 当り	210	216							
随時	基本料金 基本10m ³ まで	4,200	4,320							
	超過料金 10m ³ 超、1m ³ 当り	420	432							
基本料金	φ13	1,640	1,686							
	φ20	1,710	1,758							
	φ25	1,740	1,789							
	φ30	1,810	1,861							
	φ40	1,850	1,902							
	φ50	2,840	2,921							
	φ75	3,160	3,250							
	φ100	3,680	3,785							
	臨時用	4,200	4,320							

*平成29年4月1日から上水道料金に統一

4 財務の概要

(1) 決算状況

歳入

単位：円

	27年度	28年度	29年度
分担金及び負担金	5,509,970	3,902,310	
使用料及び手数料	308,273,060	258,933,058	
国・県支出金	125,673,000	0	
一般会計繰入	283,827,680	347,810,000	
基金繰入	22,464,000	3,674,124	
繰越金	10,075,335	3,204,517	
市債	293,200,000	73,200,000	
その他	17,677,376	690,847,967	
合計	1,066,700,421	690,847,967	

歳出

	27年度	28年度	29年度
総務管理費 人件費	24,366,736	31,583,899	
需用費	75,941,941	61,838,092	
役務費	9,684,651	8,724,169	
委託料	50,846,348	33,889,455	
工事請負費	58,610,520	26,330,400	
基金積立金	13,093	9,578	
その他	5,513,249	33,502,976	
小計	224,976,538	195,878,569	
新設事業費 人件費	28,062,560	26,032,064	
作手簡易水道統合事業	3,204,000	0	
中央簡易水道統合事業	0	0	
北部簡易水道統合事業	234,754,200	0	
鳳来峡簡易水道統合事業	200,251,440	0	
簡易水道施設改良事業	0	43,223,080	
小計	466,272,200	69,255,144	
償還金 元金	300,464,319	313,331,529	
利子	71,782,847	67,060,052	
小計	372,247,166	380,391,581	
合計	1,063,495,904	645,525,294	
歳入・歳出差引（次年度へ繰越）	3,204,517	45,322,673	

(2) 損益計算書構成比較表

科目	年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		決算額(千円)	構成比(%)	決算額(千円)	構成比(%)	決算額(千円)	構成比(%)
営業収益		308,272	70.45	258,933	67.16		
給水収益		308,149	70.42	258,812	67.13		
受託工事収益							
その他営業収益		123	0.03	121	0.03		
営業費用		204,473	74.02	179,809	72.84		
職員給与費		24,367	8.82	31,344	12.70		
受託工事費							
その他		180,106	65.20	148,465	60.14		
営業利益		103,799		79,124			
営業外収益		129,314	29.55	126,590	32.84		
他会計繰入金		93,163	21.29	122,792	31.85		
その他		36,151	8.26	3,798	0.99		
営業外費用		71,783	25.98	67,060	27.16		
支払利息		71,783	25.98	67,060	27.16		
雑支出		0	0.00	0	0.00		

Ⅲ 新城市工業用水道事業

1 工業用水道事業の沿革

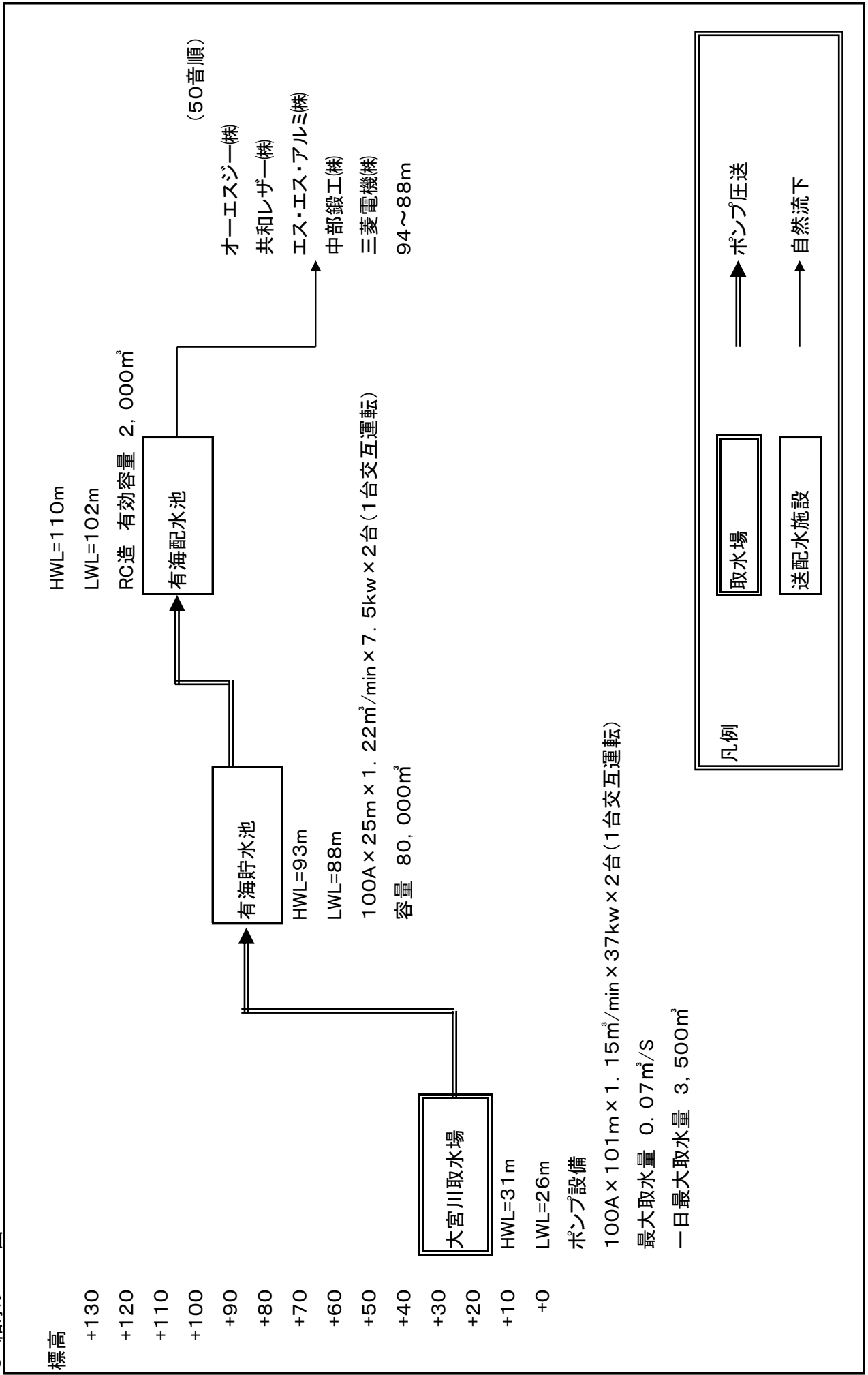
年 月 日	で き ご と	契 約 水 量 (m ³ / 日)	
昭和48年3月16日	取水許可量毎秒最大0.07m ³ (日量平均3,500m ³) 昭和48年10月10日から昭和58年3月31日まで		
昭和48年8月6日	名古屋通商産業局に工業用水道届出書を提出		
昭和48年10月6日	第1期工事(予備水源2.3)着手		
昭和48年10月6日	第2期工事(水源1)着手		
昭和48年11月6日	名古屋通商産業局より施設基準適合の通知書を受理		
昭和48年11月28日	工業用水道新設工事着手		
昭和49年3月31日	第1期工事(予備水源2.3)完了		
昭和49年4月1日	給水開始		
昭和49年5月1日	給水開始 三菱電機(株)名古屋製作所新城工場	100	
昭和50年1月15日	第2期工事(水源1)完了		
昭和50年4月1日	契約水量変更 三菱電機(株)名古屋製作所新城工場	100	→130
昭和51年4月20日	給水開始 中部鍛工(株)	350	
昭和51年4月1日	契約水量変更 三菱電機(株)名古屋製作所新城工場	130	→140
昭和51年10月14日	事業変更届 給水区域、配水管布設距離の変更		
昭和55年8月1日	給水開始 日本アルアロイ(株)	100	
昭和56年3月1日	契約水量変更 三菱電機(株)名古屋製作所新城工場	140	→100
昭和56年3月1日	給水開始 共和レザー(株)新城工場	100	
昭和56年9月1日	契約水量変更 中部鍛工(株)	350	→500
昭和57年1月1日	給水開始 オーエスジー(株)新城工場	100	
昭和58年3月22日	水利使用許可 期間変更 昭和58年4月1日から平成5年3月31日まで		
昭和61年12月1日	社名変更 日本アルアロイ(株)新城工場からスミアル合金(株)新城工場		

年 月 日	で き ご と	契 約 水 量 (m ³ / 日)	
昭和62年4月1日	契約水量変更 中部鍛工(株)	500	→350
昭和63年8月1日	契約水量変更 中部鍛工(株)	350	→450
平成3年10月1日	社名変更 スミアル合金(株)新城工場からサミットアルミ(株)新城工場		
平成5年3月31日	水利使用許可 期間変更 平成5年4月1日から平成10年3月31日まで		
平成8年12月1日	契約水量変更 中部鍛工(株)	450	→250
平成9年4月1日	協力金変更 15円から25円へ		
平成10年3月17日	水利使用許可 期間変更 平成10年4月1日から平成15年3月31日まで		
平成10年4月1日	協力金廃止 基本料金変更11円から36円 特定料金・超過料金22円から72円		
平成11年2月1日	契約水量変更 共和レザー(株)新城工場	100	→150
平成14年2月1日	契約水量変更 曲和レザー(株)新城工場	150	→100
平成15年3月20日	水利使用許可 期間変更 平成15年4月1日から平成20年3月31日まで		
平成17年5月1日	契約水量変更 共和レザー(株)新城工場	100	→300
平成18年7月1日	社名変更 サミットアルミ(株)新城工場からサミット昭和アルミ(株)新城工場		
平成20年3月27日	水利使用許可 期間変更 平成20年4月1日から平成25年3月31日まで		
平成25年3月26日	水利使用許可 期間変更 平成25年4月1日から平成30年3月31日まで		
平成25年9月1日	社名変更 サミット昭和アルミ(株)新城工場からエス・エス・アルミ(株)		
平成26年4月1日	料金改定 消費税8%		
平成30年3月23日	水利使用許可 期間変更 平成30年4月1日から平成35年3月31日まで		

2 管布設延長

種別		管種	D I P	V P	G P ・ N C P	計
導水管	φ 2 5 0		3,970		35	4,005
送水管	φ 2 5 0		130			130
配水管	φ 5 0 以下					0
	φ 7 5					0
	φ 1 0 0			200	20	220
	φ 1 2 5					0
	φ 1 5 0			359		359
	φ 2 0 0		150			150
	φ 2 5 0		200			200
	φ 3 0 0					0
	φ 3 5 0		260			260
	φ 4 0 0		270			270
	φ 4 5 0					0
	計		880	559	20	1,459
合 計		4,980	559	55	5,594	

3 給水フロー図



4 業務量

区分	年度	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
年度末給水件数		件	5	5	5
計画給水量		m ³ /日	3,500	3,500	3,500
責任使用水量		m ³ /日	850	850	850
施設能力		m ³ /日	3,500	3,500	3,500
管路延長		m	5,756	5,756	5,756
配水量	年間総配水量	m ³	149,792	153,929	156,435
	1月平均配水量	m ³	12,483	12,827	13,036
	1日平均配水量	m ³	409	422	429
有収水量	年間有収水量	m ³	148,315	152,412	154,891
	1月平均給水量	m ³	12,360	12,701	12,908
	1日平均給水量	m ³	405	418	424
有収率		%	99.01	99.01	99.01
供給単価		円	75.51	73.64	73.20
給水原価		円	64.73	56.94	60.87
施設利用率		%	11.71	12.06	12.26

5 財務の概要

(1) 損益計算書構成比較表

科目	年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		決算額(円)	構成比(%)	決算額(円)	構成比(%)	決算額(円)	構成比(%)
営業収益		11,199,600	84.70	11,223,720	86.60	11,338,704	87.17
給水収益		11,199,600	84.70	11,223,720	86.60	11,338,704	87.17
その他営業収益		0	0.00	0	0.00	0	0.00
営業費用		10,884,200	97.41	9,907,076	97.29	10,462,724	97.55
原水及び浄水費		3,327,986	29.78	3,347,826	32.87	3,997,699	37.27
配水及び給水費		164,282	1.47	220,000	2.16	0	0.00
総係費		3,839,412	34.36	2,771,522	27.22	3,058,127	28.51
減価償却費		3,552,520	31.79	3,567,728	35.03	3,406,898	31.76
資産減耗費		0	0.00	0	0.00	0	0.00
営業利益		315,400		1,316,644		875,980	
営業外収益		2,023,471	15.30	1,737,095	13.40	1,669,090	12.83
受取利息		150,260	1.14	100,800	0.77	65,359	0.50
長期前受金戻入		1,572,766	12	1,504,481	11.61	1,297,001	9.97
雑収益		300,445	2.27	131,814	1.02	306,730	2.36
営業外費用		289,650	2.59	276,482	2.71	263,084	2.45
支払利息		289,650	2.59	276,482	2.71	263,084	2.45
雑支出		0	0.00	0	0.00	0	0.00
経常利益		2,049,221		2,777,257		2,281,986	
特別利益		-		-		-	
その他特別利益		-		-		-	
特別損失		-		-		-	
減損損失		-		-		-	
その他特別損失		-		-		-	
当期純利益		2,049,221		2,777,257		2,281,986	
前年度繰越(欠損金) 利益剰余金		25,370,411		27,419,632		30,196,889	
その他未処分 利益剰余金変動額		-		-		-	
当期末処分(欠損金) 利益剰余金		27,419,632		30,196,889		32,478,875	

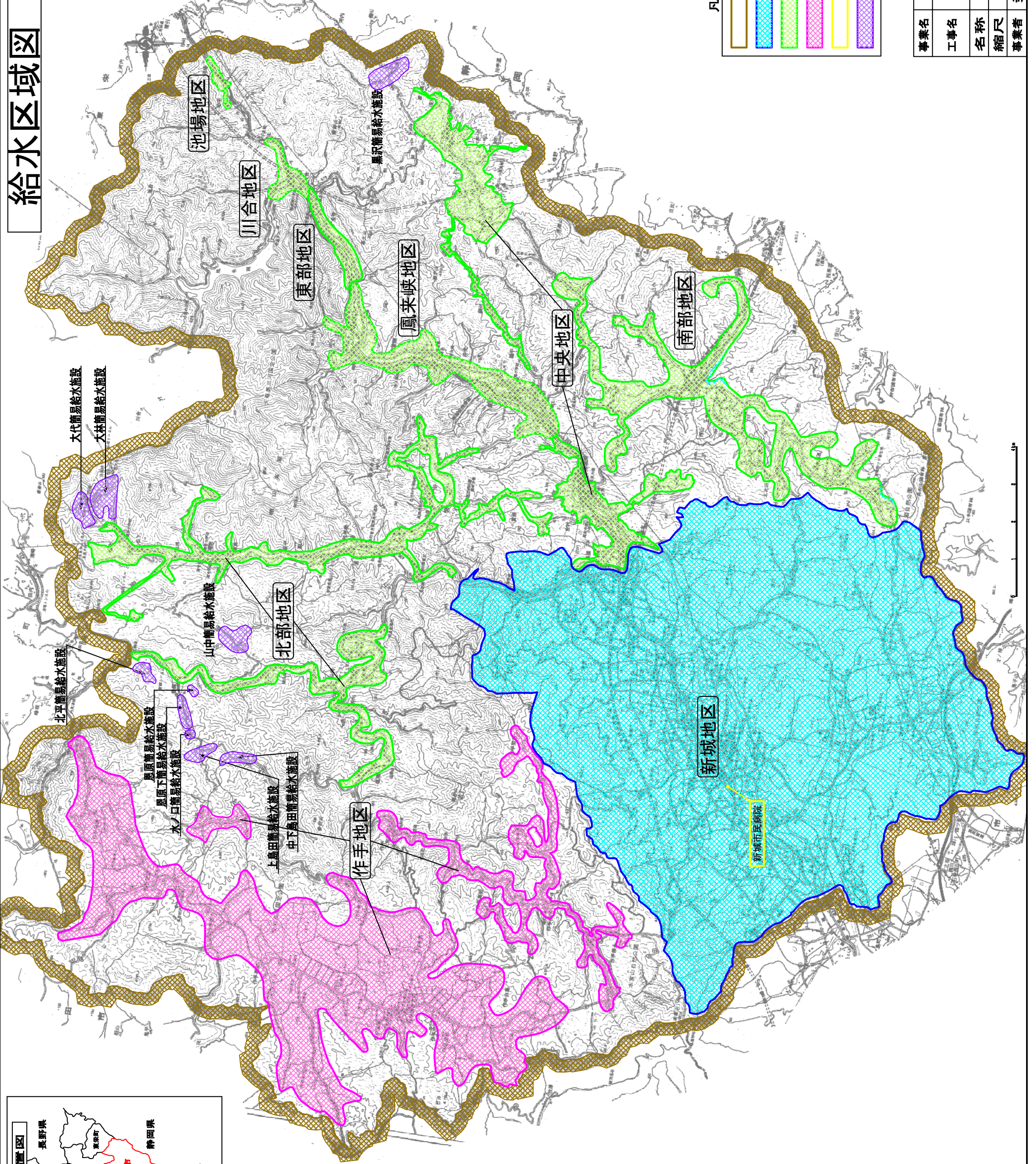
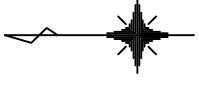
(2) 貸借対照表構成比較表

科目		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		決算額(円)	構成比(%)	決算額(円)	構成比(%)	決算額(円)	構成比(%)
資 産	固定資産	71,611,007	57.59	70,623,279	55.27	67,216,381	53.67
	流動資産	52,740,709	42.41	57,148,954	44.73	58,018,515	46.33
	現金預金	52,233,325	42.00	56,659,066	44.35	57,463,271	45.89
	未収金	507,384	0.41	489,888	0.38	555,244	0.44
	その他流動資産	0	0.00	0	0.00	0	0.00
資 産 合 計		124,351,716	100.00	127,772,233	100.00	125,234,896	100.00

科目	年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		決算額(円)	構成比(%)	決算額(円)	構成比(%)	決算額(円)	構成比(%)
負債	固定負債	19,895,601	23.32	19,120,755	14.96	18,305,478	14.61
	企業債	14,895,601	17.46	14,120,755	11.05	13,305,478	10.62
	建設改良等の財源に 充てるための企業債	14,895,601	17.46	14,120,755	11.05	13,305,478	10.62
	他会計借入金	5,000,000	5.86	5,000,000	3.91	5,000,000	3.99
	建設改良等の財源に 充てるための企業債	5,000,000	5.86	5,000,000	3.91	5,000,000	3.99
	引当金	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	修繕引当金	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	流動負債	1,494,489	1.75	4,417,076	3.46	1,710,031	1.37
	企業債	774,846	0.91	774,846	0.61	801,879	0.64
	建設改良等の財源に 充てるための企業債	774,846	0.91	774,846	0.61	801,879	0.64
	未払金	405,643	0.48	3,328,230	2.60	470,152	0.38
	引当金	314,000	0.37	314,000	0.25	438,000	0.35
	賞与引当金	274,000	0.32	274,000	0.21	398,000	0.32
	法定福利費引当金	40,000	0.05	40,000	0.03	40,000	0.03
	その他流動負債	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	繰延収益	29,773,513	34.90	28,269,032	22.13	26,972,031	21.54
	長期前受金	165,939,367	-	165,939,367	-	165,939,367	-
	収益化累計額	△ 136,165,854	-	△ 137,670,335	-	△ 138,967,336	-
負債合計	51,163,603	59.97	51,806,863	40.55	46,987,540	37.52	
資本	資本金	39,031,073	45.75	39,031,073	30.55	39,031,073	31.17
	自己資本金	39,031,073	45.75	39,031,073	30.55	39,031,073	31.17
	借入資本金	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	剰余金	34,157,040	40.03	36,934,297	28.91	39,216,283	31.31
	資本剰余金	4,137,408	4.85	4,137,408	3.24	4,137,408	3.30
	受贈財産評価額	4,137,406	4.85	4,137,406	3.24	4,137,406	3.30
	工事負担金	2	0.00	2	0.00	2	0.00
	利益剰余金	30,019,632	35.18	32,796,889	25.66	35,078,875	28.01
	減債積立金	300,000	0.35	300,000	0.23	300,000	0.24
	利益積立金	1,300,000	1.52	1,300,000	1.02	1,300,000	1.04
	建設改良積立金	1,000,000	1.17	1,000,000	0.78	1,000,000	0.80
	当年度未処分 (欠損金)利益剰余金	27,419,632	32.14	30,196,889	23.63	32,478,875	25.93
	資本合計	34,157,040	40.03	75,965,370	59.45	78,247,356	62.48
負債・資本合計	85,320,643	100.00	127,772,233	100.00	125,234,896	100.00	

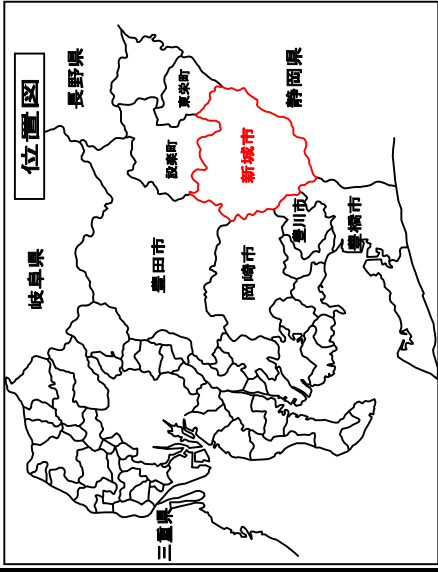
給水区域図

S=1:50,000



凡例

- 行政区域
- 新城地区
- 鳳来地区
- 作手地区
- 専用水道
- 簡易給水施設



事業名	年度
工事名	
名称	給水区域図
縮尺	1:50,000
事業者	新城市

平成30年度版 新城の水道

編集・発行／ 新城市役所上下水道部経営課
〒441-1392
愛知県新城市字東入船115番地
電話 0536-23-7645
URL www.city.shinshiro.lg.jp/
発行年月 / 平成31年1月